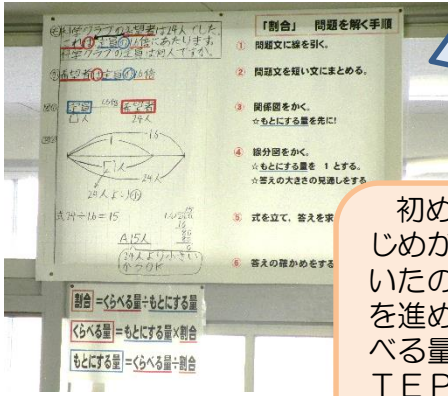


各校で「割合」の指導が工夫されています！

県教委では、依然として課題が見られた「割合」単元の指導に当たり、組織的・継続的な指導につなげる資料として『算数「割合」の指導のポイント』を作成・配付しました。この資料を基に、3学期に入り5年生算数の学習では、「割合」単元の指導の充実に取り組まれた学校が多くありました。

今号は、浅口市立鴨方東小学校と六条院小学校の取組を紹介しますので、各校で参考にさせていただければと思います。また、その他に効果のあった取組について、県教委までぜひお知らせください。



「割合」指導資料で示したSTEPを児童の実態に応じて順序を入れ替えて指導に当たっています。

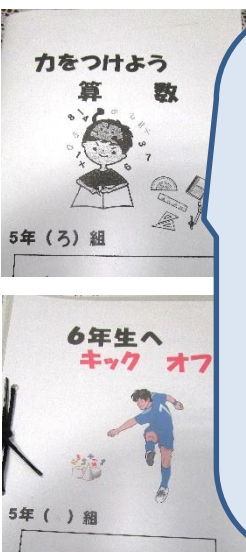
初めて5年生を担当しています。学年のはじめから、「割合」の指導が難しいと聞いていたので、主任の先生と相談をしながら授業を進めています。「もとにする量」と「くらべる量」が明確になるように、指導資料のSTEPを入れ替え、先に問題文を短文でまとめ、色分けすることを徹底しています。

鴨方東小学校



問題文の数量関係を捉えることが難しく、線分図の量的関係の把握が厳しい子どももいます。手順を確認しながら子どもたちが自分で解けるようにすることが大切だと思っています。

また、自主勉強で「割合」に取り組むよう意識的に声掛けをし、良い取組を掲示することで互いが刺激し合って高まっていけるように工夫をしています。



2学期から少人数担当の先生と相談しながら、1学期に苦手としていた計算問題等を数問混ぜて、毎日2～3問課題に取り組みさせています。途中からは、子どもたちが問題をつくり、答え合わせを自分たちで行った後、担任が点検をしています。また、3学期は「6年生へキックオフ」とタイトルを変え、一年間の総復習にも取り組んでおり、その中で「割合」やそれにつながる問題に取り組むことで、子どもたちに、関係図でも対応数直線でも問題が解ける力が付いてきていると実感しています。

六条院小学校

